

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 源吉兆庵		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 700-0903 岡山市北区幸町7-28	
本票作成	部署名：総務部				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	菓子製造				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	東岡山工場		岡山市中区長岡4-45	
	②	藤田工場		岡山市南区藤田564-229	
	③	妹尾工場		岡山市南区妹尾2658	
	④	本社		岡山市北区幸町7-28	
	⑤	築港工場		岡山市南区築港新町1-24-21	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 5 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 1.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 3 年度)			目標年度 (令和 8 年度)					
	4,815 t CO ₂			4,767 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 3 年度) の排出量					
	①	東岡山工場		1,812 t CO ₂					
	②	藤田工場		1,592 t CO ₂					
	③	妹尾工場		836 t CO ₂					
	④	本社		389 t CO ₂					
	⑤	築港工場		186 t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 3 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

設備更新等によるエネルギー効率の向上などにより、省エネ法に基づく年1%以上の温室効果ガス排出削減に取り組む。

【目標削減率達成のための推進体制】

<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を確認している ・デマンド電力の監視により、デマンド電力を抑制している

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
東岡山工場、藤田工場、妹尾工場、東岡山工場、本社	(29年度実施分) 各工場でのデマンド監視による節電意識の向上を図る (30年度実施分) 県外工場建設・本格稼働により、岡山県内工場の稼働の分散化 (令和元年度実施分)
藤田工場	照明設備のLED化 県外2工場の生産設備の強化により、岡山県内既存工場での生産量の分散化 (令和2年度実施分) 藤田工場 冷蔵冷凍庫の室外機の設備更新 (令和3年度実施分) コロナ禍の売り上げに比例して生産量を調整し、生産設備の動作を抑えることで、使用電力を削減した

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
全社	<ul style="list-style-type: none"> ・OA機器の節電とこまめな消灯の再徹底 ・業務の効率化、残業削減の取り組みの推進による消費電力の削減 ・設備更新（老朽化設備更新、効率化機械の導入検討）

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房設備の使用電力低減のため、クールビズ・ウォームビズ運動に取り組んでいる ・【ノー残業DAY】の推進、および定時時間を考慮したパソコンの自動シャットダウンによるパソコンや照明および空調電力の削減 ・基準年度（令和3年度）は新型コロナウイルス感染拡大による生産量減少のため、温室効果ガスの排出量も減少しているが、目標年度（令和8年度）においては、生産量増加の影響で目標排出量4,767CO₂を上回ることが予想される
